



自学・敬愛・誠実

令和2年9月19日(令和2年度 第5号)

発行責任者 大島町立第一中学校長 牧野 英一

生徒の道徳性が伸び、登校するのが楽しく、安全な学校
確かな力のつく学校、地域に学び、地域とともに歩む学校

◆学校教育目標◆

- ・自ら進んで学び
- ・自然や人を愛し
- ・たくましく生きる生徒



過去の教訓を

校長 牧野 英一

8月31日(月)開発総合センター大会議室において、防災教育の一環として取り組んでいる「台風26号による土砂災害から今」を大テーマにして学んだ発表会が行われました。これは2年前から2年生で実施しているもので、元町大金沢を中心にフィールドワークを行い、自然災害時に何ができるのか。そして、これから求められることは何かを考えさせる取り組みです。当日は、教育長をはじめ地域の方々との意見交換をする時間もあり、貴重な学びの場となりました。地域の方からも「皆さんが調べ学んだことを実践してほしいです。そして、周りの方に伝えてほしいと思います。このような機会を作っていただきありがとうございました。」と心温まるご意見をいただくことができました。

平成25年10月15日(火)、夕方から雨や風が強くなり、16日(水)の午前0時頃を過ぎたあたりから今までに感じたことのない「ゴー」という地響きが続きました。そして突然、「ドーン」という何か大きなものが家に当たり地震のような振動、停電の中、部屋のドアを開けると1階からは雨の音と生臭い匂い、外を見ると今まであった隣の家が無く、警察に連絡すると、丸塚橋が氾濫しているという情報が入りました。2階で待機する選択肢もありましたが、少し高台にある知人の家への避難を決意し玄関を開けようとしても動かず、仕方なく沢の反対側にある窓から外へ出るも膝上まで土砂に埋まり、普段なら3分もあれば行けるところを、30分近く一步一步土砂から足を抜きながら家族を連れて非難しました。朝、明るくなって見た大島の光景は今でも忘れることはできません。現在、大島町復興計画に沿って整備されつつありますが、その災害を風化させることなく教訓とし、防災意識を高め、自助・共助・公助の精神を培ってくださることを願っています。

さて、この自助・共助・公助の三助という考え方ですが、江戸時代に出羽国米沢藩の藩主である上杉鷹山(ようざん)が、「三助の実践」と考えたのが始まりだと言われています。ただ、呼び方が今の自助・共助・公助とは少し異なり、自助・互助・扶助だったそうです。特に防災のために考えたという訳ではなく、藩をうまく統治していくために考えられました。意味は現在のものとほとんど同じで、「自助」は自分自身を助けること。「互助」は近隣住民で助け合うこと。「扶助」は藩が助けに乗り出すことだそうです。上杉鷹山は財政が破綻していた藩をこの三助の実践に基づいて、奇跡的に立て直しました。人は歴史から学ぶことが多く、過去の教訓を今に活かすことでより良い生活が実現すると言われています。

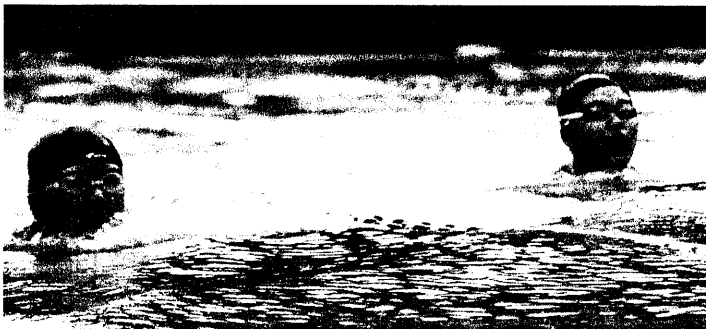
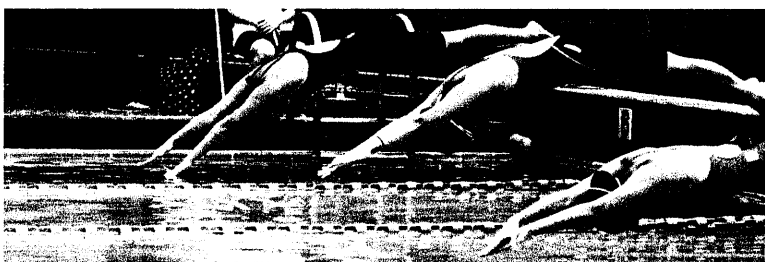
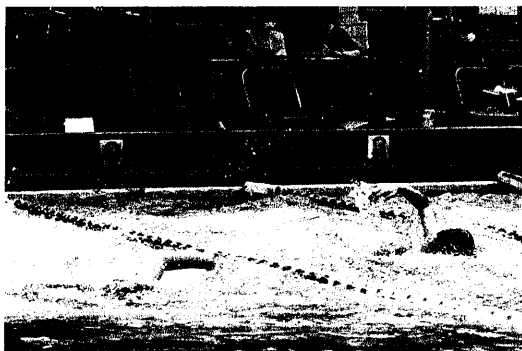
上杉鷹山と言えば、「なせば成る なさねば成らぬ 何事も 成らぬは人の なさぬなりけり」という言葉が有名です。意味は「どんなことでも強い意志を持って行えば必ず実現する。結果が得られないのは成し遂げる意思を持って行動しないからだ」です。9月14日(月)運動会に向けて結団式が行われ、紅白の団が結成されました。今年の運動会は新しい生活様式を踏まえ、外部団体競技の参加を自粛させてもらい、新型コロナウイルス感染症対策を行っての実施となりますが、スローガンである「1分1秒を全力で!! 気合を入れて輝け一中生!」を合言葉に、感動的な運動会、そして、中学生の一生懸命な姿で大島に元気を与えてくれることを期待しています。

校内水泳記録会

8月1日(土)に校内水泳記録会を行いました。今年度は夏休みが短縮となり、水泳教室が開催できなかったため、放課後に飛び込み練習期間を設けて校内水泳記録会に臨みました。

記録会では自己記録の更新を目指し、参加生徒は一生懸命に泳ぎ、力を出し切ることができました。また、3年生を中心とした暖かい応援がとても印象的な記録会でもありました。コロナウィルス感染症のため、例年通りの実施とはなりませんでしたが、3密を防ぐ対策を講じながら工夫をして校内水泳記録会が実施できたことに感謝したいと思います。特に大島町水泳大会が中止となり、水泳部の3年生にとっては大きな意味を持つ校内記録会になったと思います。

保護者の皆様にはフェンスの外からのご参観、ご声援と、大変ご不便をおかけしましたが、ご理解、ご協力をいただきまして誠にありがとうございました。



運動会活動始まる

運動会活動が14日(月)より開始されました。例年よりも活動期間は短く、実質3週間での準備となります。結団式では体育委員長である矢島来翔くんから「活動期間の短さを言い訳にしない」という言葉がありました。各団とも、与えられた時間を工夫し、中身の濃い時間としてほしいと思います。

今年度の運動会全体スローガンは「**1分1秒を全力で!! 気合いを入れて揮けー中生!**」です。紅白共に熱戦を繰り広げてくれることを期待します。保護者の方々ならびに地域の皆様、10月3日(土)当日の応援、よろしくお願いいたします。

【結団式 紅白キャプテンへの団旗授与】

【全体スローガン決定】

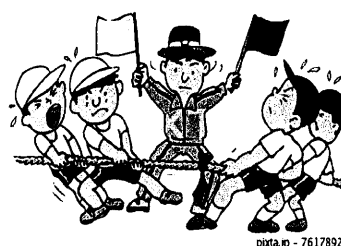
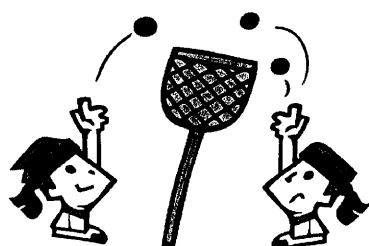


紅組		白組	
キャプテン	横川 陽希	キャプテン	矢島 来翔
副キャプテン	天野 涼子	副キャプテン	鶴崎 颯馬
応援団長	市村 松大	応援団長	鈴木めるも
応援副団長	中村 一稀	応援副団長	諸星 結歩
競技責任者	関口 涼太・長井 綾花	競技責任者	柳瀬 楓太・森川 乃野
学年責任者2年	荒田 憂吏・太田 愛希	学年責任者2年	青山 陽一・網谷 思帆
学年責任者1年	市村友之介・藤井和花葉	学年責任者1年	瀧尾 季一・白石 蓮華
パネル係長	荒谷 壮太		

運動会における新型コロナウイルス感染症対策のお知らせ

来月の10月3日(土)に、第74回運動会を開催する予定です。ご多用とは思いますが、是非ご来場の上、生徒たちを応援していただきたくご案内申し上げます。

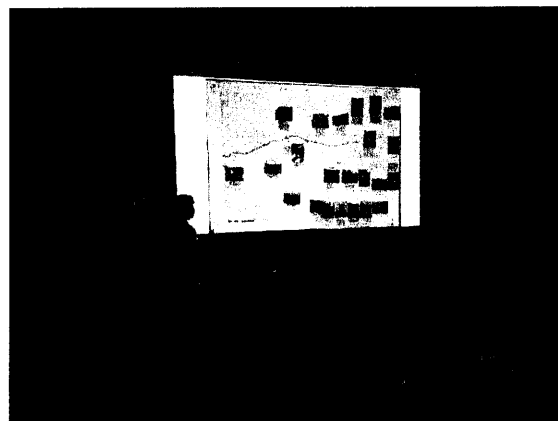
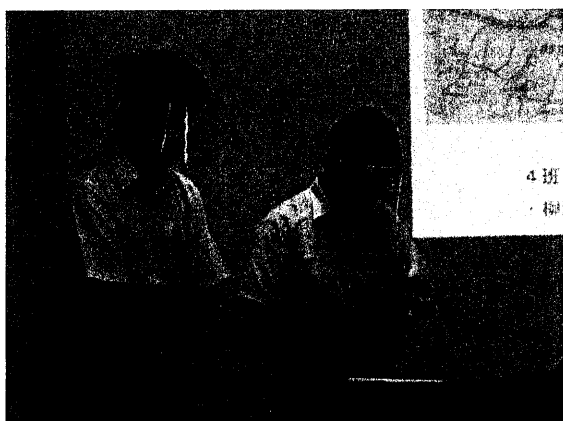
なお、昨今新型の新型コロナウイルス感染症の状況を鑑み、今年度は新しい生活様式を踏まえながら、外部団体参加競技の自粛、内容の一部縮小等、新型コロナウイルス感染症対策を行っての実施となります。ご理解・ご協力よろしくお願いいたします。



防災教育発表会（2年生）8月31日 開発総合センターにて

8月31日、2年生が大島町開発総合センターにて、防災教育発表会を行いました。発表した内容は平成25年の土砂災害から約7年経過した大金沢付近の様子について調べたことや学んだことです。今回の発表に先立ち、7月20日に都立大学の市古先生とともに大金沢付近のフィールドワークに行ってきました。実際に災害が起きた場所を見て7年近く経過した植生の回復や、防災構造物としての堆積工、河川の拡幅工事の様子などを観察し、生徒は興味関心を高めていました。

当日の発表会では、事前準備の時間が限られている中、生徒は一生懸命、考察や意見などを考え発表しました。また、発表の討論の中で大島町の様々な方からの意見を聞くなど今後の防災教育について参考になりました。また、本校は土砂災害特別警戒区域に指定されており、土砂災害に対して今後とも細心の注意を払わなければなりません。今後とも防災教育を充実させていきたいと思えます。
(柏原 孝輔)



PTA草刈り ご協力ありがとうございました



9月13日（日）、PTA総務部主催の草刈りが実施されました。当日は多くの保護者の参加があり、いつもはなかなか手の行き届かない土手の草などを刈っていただき、大変綺麗になりました。作業にあたり重機借用や草刈り機の燃料提供等、地域の業者の皆さまに多大なるご協力をいただきました。PTA役員の皆さま、ご協力いただいた地域の方々、あらためて心より感謝申し上げます。

10月行事予定

1日（木）都民の日
※ この日は給食がないため、弁当持参。
3日（土）第74回運動会
11日（日）町レクリエーション大会
16日（金）生徒会役員選挙
21日（水）・22（木）中間考査

24日（土）学級弁論大会・保護者会
24日（土）学校公開 ～27日（火）迄

【SC出勤日】
15日（木）、16日（金）、29日（木）
30日（金）